

《専門教育科目 実習関連科目 保育実習》

科目名	保育実習指導Ⅱ 前期				
担当者氏名	原田 邦子、田村 みどり、中島 美智子				
授業方法	実習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 保育実習				

《授業の概要》

「保育実習指導Ⅱ」は、「保育実習Ⅰ」の実習体験を踏まえ、保育士資格の取得に向けて、より専門的な学びを得る実習となり、自己の適性と卒業後の進路選択の資料を得るものとなる。事前指導では、養護と教育が一体となって展開される保育や、保育所の社会的役割と責任について理解を深められるよう概説する。そして、家庭や地域の子育て支援のニーズに対応する保育士の役割について学び、実習に臨む知識を得る。又、子どもの発達の違いに応じた関わり家庭とのコミュニケーションのとり方、責任実習に必要な指導計画の作成と展開、守秘義務など、保育士として必要な知識技術について学習し実践につながる力を身につけ、事後指導は、実習体験を総括し課題の実現について考える。

《授業の到達目標》

1. 実習の意義と目的、内容を理解し、保育について総合的に理解する。
2. 実習や既習の教科の内容やその関連性を踏まえ、保育実践力を養う。
3. 保育の観察、記録、自己評価、保育の改善について理解し、実践力を習得すると共に思考する習慣を身につける。
4. 保育士の専門性と職業倫理について理解を深め、職業人としての意思や態度を持つ。
5. 事後指導を通して実習の総括と自己評価を行い、課題を明確化する。

《成績評価の方法》

平常点（受講態度・模擬保育含む）、課題（授業時の提出物）、受講ノート、保育所実習記録などにより総合的に可否で評価する。

《参考図書》

必要に応じて随時配付する。『保育実習の手引』（実習指導室発行）『保育者と学生・親のための乳児の絵本・保育課題別絵本ガイド』福岡貞子・磯沢淳子（ミネルヴァ書房）

《教科書》

『保育実習・教育実習』待井和江・福岡貞子編著（ミネルヴァ書房）

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A12
担当形態：クラス分け
幼稚園教諭：－
保育士：必須

《担当教員の実務経験と授業の関連》

保育所所長等の勤務経験をもとに、実践的な演習を行います。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	保育実習Ⅱの意義と目的 実習に必要な手続き準備	保育実習Ⅱの意義と目的、具体的な実習内容の全体を理解し課題を明確にする。実習生カードを作成する/ワークシートの記入（授業で学んだこと・質問キーワードの理解と漢字の練習）【30分】
2	保育所保育の理解を深める（1）	多様な保育ニーズに対応する保育内容や子育て支援の方法を学ぶ/ワークシートの記入・保育内容に関する漢字の練習をする【30分】
3	指導計画の作成（1）	指導案作成の基本的な考え方を学ぶ。指導案例による実践ビデオを視聴し、作成のポイントを理解する/部分保育に活用できる絵本を選んでおく。手遊びをいくつかできるように練習しておく【60分】
4	指導計画の作成（2）	責任実習を想定し、中心となる活動の選択をして題材（テーマ）に必要な教材研究をする/わらべ歌を実践して指導計画に入れる。ワークシートの記入【30分】
5	保育所現場の実際に学ぶ	特別保育事業の実施状況や、現場が求める保育士の専門性について講義を受ける/実習で学びたい目標の作成にむけて、保育実習Ⅰでの課題を踏まえて考えておく【30分】
6	保育実習Ⅱで 学びたい目標の記入	保育実習Ⅱの自己課題を明確にし、学びたい目標を設定する/実習でよく使う保育内容に関する漢字の練習をする【30分】
7	指導計画の作成（3）	発達過程を考慮した指導案を作成し、実践のポイントを確認する/模擬保育実践に必要な教材の準備や役割分担を確認しておく【30分】
8	指導計画の作成（4）	グループ別に、指導案に基づく保育のシミュレーションを実施し、保育の展開の仕方を経験する/模擬保育実践に向けて、教材の研究や役割分担などをグループメンバーで確認しておく【30分】
9	保育所保育の理解を深める（2）	3歳未満児保育・長時間保育・長期間保育など保育所保育の特性について学び、実践的な理解を深める/実習でよく使う保育内容に関する漢字の練習をする【30分】
10	実習記録の意義と方法の 確認	1回生の実習記録を基に自己の課題を確認し、よく整理された記録を作成するための情報交換を行う/1回生の実習記録の訂正箇所や評価反省欄、指導保育士の指導内容コメントを読み返しておく【30分】
11	実習直前の準備と心構え	実習に臨む心構えや保育士の職業倫理について再確認する。事前準備を確認する/チェックリストで実習の準備が整っているかを点検する【30分】
12	事後指導—実習体験の交流	グループで実習体験を交流し、報告を通して体験を共有化する/実習中・実習内容についての自己評価を行いワークシートに記入する【30分】
13	事後指導—自己課題の明確化	実習成績評価票による個別課題について指導を受ける。自己課題を明確化し、進路選択について考える/実習施設の評価を基に自己課題を明確にし、保育現場を見据えた今後の課題を整理しておく【30分】
14	教材の研究	【課題研究】発達過程にあった玩具や教材を作成し、責任実習に活用する/作成する玩具や教材を考えて材料を用意する【90分】
15	事後指導—実習の総括	【課題研究】実習目標の達成状況など自己評価に基づき所感を記入する。保育士に必要な資質について考える/授業で配付したすべてのプリントを点検・整理しファイルで提出できるようにしておく【90分】